

P4-3 がん登録実務者支援の 実施報告と 次年度の取り組み

発表者名 佐々木和英¹⁾、中田慶子²⁾、山内盛泰³⁾、高嶋光浩⁴⁾、
荒金尚子⁵⁾、原将大⁶⁾、長本敬孝⁷⁾

所属 佐賀大学¹⁾、佐賀県庁²⁾

(利益相反：なし)

佐賀県がん登録研修会

7年目を迎える佐賀県がん登録研修会では、全国がん登録、院内がん登録問わず、がん登録実務者支援の充実を図ってきた。
2020年から初級者向けクラスを「おたまじゃくしさんコース」、一歩進んだクラスを「かえるさんコース」として開催している。毎年度末には講師と共にカリキュラムの検討を行い継続している。
今年度は、肝胆腫や頭頸部の解剖、全国がん登録の演習解説、データ活用とともにレベルアップしたカリキュラムに入る。

佐賀県がん登録研修会

コース紹介と実施概要

かえるさんコース 佐久総合病院 西本真先生

2018年から臓器別のがんをテーマに、がん登録実務初級認定者を対象とした基礎的な解剖・生理に加え、病期分類の解説を取り入れている。今年度は、肝外胆管、胆のう、膵臓の「肝胆腫のがん」、口腔・舌、喉頭、咽頭、甲状腺の「頭頸部がん」を学習した。新たなテーマは、病気や社会情勢にまつわる内容として「乳頭癌のはなし」、「頭頸部の発生学」「甲状腺と癌」、項目解釈のおさらいでは「発見経緯」、「初回治療」、登録したデータからみながら「統計でみる癌罹患」を取り入れ、実務を行う上で必要な知識を広い視点で得ることができた。

佐賀県がん登録研修会

コース紹介と実施概要

おたまじゃくしさんコース 国立がん研究センター 松田智夫先生

全国がん登録の症例登録、進捗度(ハンドアウト)となる部位別テキストも配布。昨年度よりレベルアップした内容で演習を行った。メインとなるデータ活用講義で、罹患率、死亡率、生存率ができるまでを学習した。新たな取り組みとして、医療機関で行う全国がん登録の心構えと学び方として、全国がん登録の取り組みのおさらい、全国がん登録のデータ活用の状況や実際にはがん登録データの分析で使用されているツール・システムを紹介、がん検診やがん登録の関わり、全国がん罹患モニタリング集計と全国がん登録罹患率のの違いを学んだ。自施設のデータを活用するきっかけを得て、公開されているデータの理解を深めた。

佐賀県がん登録研修会

コース紹介と実施概要

Rワークショップ 国立がん研究センター 松田智夫先生、佐賀大学 高嶋光浩

初めて取り入れたRワークショップでは、統計分析ツールRについてエクセルと比較しながら、実際にRを用いて佐賀県のデータを用いた分析例も紹介した。

佐賀県がん登録研修会

参加者数

●全体的に参加数も増えた。かえるさんコースは平均7人/年度、おたまじゃくしさんコースは平均36人/年度増えた。

R3
平均128人
平均101人

R4
平均145人
平均137人

佐賀県がん登録研修会

参加者数

●R4年度は36都道府県から参加があった。(R3年度：30都道府県)

佐賀県がん登録研修会

施設割合

●がん拠点病院からの参加が増えた。

佐賀県がん登録研修会

経験年数

●実務経験年数が5～10年未満の実務者の参加が増えた。

佐賀県がん登録研修会

難易度

●「難しかった」の回答が2倍になっていた。

難しかった 一歩がわからなかった 17.2%
ちよつとよかった、よわよわかった 76.9%
参加していない 6.9%
その他 (R3のみ)の項目 100%

がん医療従事者eラーニング

●新規コンテンツの掲載が1年連続となったため、受講数が伸びなかったが、掲載後、前月比365%となった。

がん医療従事者eラーニング

●がん登録届出に関するQ&Aの事例数が多くなったことから、掲載方法の変更、検索機能の追加、また解説資料も併せて公開した。

がん医療従事者eラーニング

●研修会の復習、また参加出来なかった人向けに、研修会で行った症例登録の問題、解答、演習解説の動画、テキストを公開した。

演習解説

動画ID	動画タイトル	再生時間	ダウンロード
01	がん登録の基礎知識	10:30	ダウンロード
02	がん登録のデータ活用	15:45	ダウンロード
03	がん登録の課題と解決策	12:20	ダウンロード
04	がん登録の未来	8:15	ダウンロード

がん医療従事者eラーニング

●今年度実績としてQ&Aを77件、演習解説14症例追加した。
●現在、サイト内のコンテンツ数は324件となった。

ハイブリッド形式 (ロープレ)

統計分析ツール Rワークショップ

●研修会のみと実際にRを使用しながら参加したグループとに2極化した。当日の配布資料に、ワークショップ終了後に寄せられた質問の回答などを追加したテキストを作成し、その補足説明を12月、1月、2月の3回に分けて行った。

統計分析ツール Rワークショップ

●詳しくは、英語版P2-5「がん登録実務者支援としてのデータ分析ワークショップ」をご覧ください。

統計分析ツール Rワークショップ

●アンケートの結果、ワークショップおよび補足説明会について、参加できなかった、また1回では理解できなかったとの声があり、eラーニングに動画、テキストの公開を行うこととした。

【次年度の取り組み】

●研修会は新たにハイブリッド形式による開催を導入するため、ポータルサイトの改修を進めている。
ハイブリッド形式 (ロープレ)

【次年度の取り組み】

●研修会テーマは院内がん登録での多量がんルールを加え、より専門性・特化した内容を取り入れていく。
●eラーニングは定期的な新規掲載、コンテンツの改変等も行うことで、新規採用者が喉を迫って受講できる環境に整備していく。

【次年度の取り組み】

Web
部別のがんシリーズに多量がんルールが入ったかえるさんコース

Hybrid
必読がんハンドブック4冊シリーズ

【次年度の取り組み】

●データ活用コースは、病院統計の作成など現場に近いテーマを盛り込む方針とした。
Rではアンケート結果より、局在・形態コードを用いた集計、マッピング等を行う予定。

お知らせ

●佐賀県がん登録研修会の新規申し込みは、下記URLよりポータルサイトに登録後、参加ボタンを押してください。
<http://www.gankyoten-saga.info/portal/>

お知らせ

●eラーニングへの新規申し込みは、下記URLより新規登録後、ID/パスワードをお待ちください。
<https://www.gankyoten-saga.info/elearning/>

みんなで作るがん登録

～循環型がん登録実務を目指して～